

活動報告

G.プッチーニ作曲

● 開催日: 2016年12月8日(木) 19:00開演

● 於: めぐろパーシモンホール 小ホール

● 全席自由: 4,000円

● 主催: AtoK labo(エイトウーケーラボ)

オペラ「ラ・ボエーム」ハイライトステージ



“初めて”のオペラ鑑賞に。

「一度は観てみたいオペラ...だけどやっぱり敷居が高そう。」「子どもにも一度オペラを観させたい。だけどいきなり長時間の本格的なオペラ公演に連れて行くのも...。」

そんなお客様のためにもお楽しみ頂き易い舞台を目指して取り組んで参りました。



本公演の特徴



・上演時間1時間35分のダイジェスト版。
(休憩15分含む。)

フルヴァージョンの『ラ・ボエーム』を観劇する際、開演から終演までの時間は約3時間を見積らなくてはなりません。平日、仕事帰りの19:00に開演したとして劇場を出られるのは22時過ぎになります。大劇場でのフルセットのオペラ公演はきっと素敵なものでしょうが、オペラ初心者のお客様にとってこの長さはやはり敷居が高いようです。

・4人に絞った主要キャスト。

オリジナルの『ラ・ボエーム』の主要キャストは6人。無駄な役なんてひとつもありませんが「気軽にオペラを楽しんで頂く。」ことを信条とする本公演においては“主に歌唱する役”を4人に絞りコンパクト化させました。そうすることにより内容が解りやすく、親しんで頂きやすい舞台が出来上がることを目指しました。

・字幕なし、イタリア語上演でも伝わる内容。

通常のオペラ舞台では、日本語の字幕が付けられますますが、本公演では字幕を採用せず、日本語による語りシーンを適宜挿入することで、内容をお伝えしました。

具体的には、オリジナル版における6人の主要キャストのうちの1役：ショナールが、友人らと過ごした青春時代を回想する。という形式を採用しました。

お客様からのご感想

・初めてのオペラで、とても楽しめました。

いつの間にか「ラ・ボエーム」の世界に引き込まれました。出演者の皆さん の快演が客の気持ちを揺さぶりました。

・ちょうど良い長さで解りやすく、映画を見に来た感覚でした。

オペラを初めて観る友人を連れてきましたが、コンパクトにまとめてくれていたので、解りやすく友人も喜んでいました。オペラは上演時間が長いのがネックでなかなか行けませんが、こういうやり方だったら映画を見に行く感覚でオペラ鑑賞を楽しめそうです。

・字幕がなくても十分に内容が理解できる舞台でした。

主要キャストの1人（ショナール）が歌ではなく、日本語の語り役として登場することで日本語字幕が必要なくなるというのは、良いアイディアだと思いました。イタリア語の歌詞の意味がわからなくても、十分にストーリーが理解できました。



上記のほかにも沢山のご感想、ご意見をいただきました。

中には、「歌っている内容をリアルタイムで理解しながら楽しみたいから字幕があつた方がありがたい。」「オペラ鑑賞が初めてだったので、鑑賞中に（面白い場面で）笑ったり、泣いたりすることがOKなのかどうかがわからなかった。（←もちろんOKです。）」などのご意見も頂きました。

皆さまからいただいたお言葉の数々を励みにして、今後もより皆さまに楽しんでいただける舞台を作って行けるように精進して参ります。

ありがとうございました。



出演者



清水龍之介 Ryunosuke Shimizu 演出・ショナール(語り)

武蔵野音楽大学及び同大学院声楽科修了。歌手として様々なオペラの役で出演をするほか、演出や企画・制作などの分野においても精力的に活動を行っており『マリア・ストゥアルダ』『トスカ』『ノルマ』『椿姫』などの演出を手がけている。また、コレベティートルの横山修司氏と共に継続的に演奏会『龍会 Selezioni』を開催しており、同世代の歌手と研鑽を積み好評を博している。



飯塚茉莉子 Mariko Iizuka／ミミ

群馬県出身。武蔵野音楽大学、同大学院修了。第80回読売新聞社主催新人演奏会に出演。第17回コンセールマロニエ21コンクール第3位受賞。新国立劇場オペラ研修所第16期修了。『愛の妙薬』アディーナ、『ナクソス島のアリアドネ』タイトルロール、『こうもり』ロザリンデ、『フィガロの結婚』伯爵夫人など様々なオペラに出演。声楽を岩永圭子、岡崎雅明、大澤精市、Rebecca Bergに師事。



鈴木俊介 Shunsuke Suzuki／ロドルフォ

武蔵野音楽大学、同大学院修了。同大学オペラ本公演『魔笛』モノスター役、同大学オペラコースにて『愛の妙薬』のネモリーノ役等で出演。東京芸術劇場シアターオペラシリーズ『サムソンとデリラ』ペリシテ人役、演出家恵川智美氏主催によるlabo opera絨毯座において『ティレジアスの乳房』夫役に抜擢される。これまでに黒田彰、横山修司、小林三枝、森本ミユ紀の各氏に師事。



相原里美 Satomi Aihara／ムゼッタ

武蔵野音楽大学卒業演奏会、第83回読売新聞社主催新人演奏会に出演。第5回ジュリアード音楽院声楽オーディションby IFAC 最優秀賞、第68回全日本学生音楽コンクール大学の部東京大会、全国大会第1位。甲子園ボウルや都市対抗野球の開幕式にて国歌独唱。『フィガロの結婚』伯爵夫人、『ドン・ジョバンニ』エルヴィーラ等で出演。山内みどり、E.オブラスツォア、M.レアーレの各氏に師事。



小林啓倫 Hiromichi Kobayashi／マルチエッロ

国立音楽大学、同大学院修了。第79回読売新人演奏会出演。二期会研修所マスタークラス第56期修了。修了時に奨励賞、優秀賞を受賞。新国立劇場オペラ研修所第16期修了。第52回日伊コンクール第2位。モーツアルトやロッシーニからR.シュトラウスまで幅広いオペラに出演の他、宗教曲等のソリストも務める。黒田博、小川哲生、佐藤峰子の各氏に師事。二期会会員。日伊音楽協会会員。



河野康成 Yasunari Kohno／アルチンドロ

武蔵野音楽大学卒業。卒業時に卒業演奏会に出演するほか、在学時にも選抜生によるコンサートに出演。同大学同窓会福岡県支部新人演奏会、北九州音楽協会主催北九州新人演奏会等に出演。2014年イタリア留学。2015年『ラ・ボエーム』にベノア、アルチンドロ役で出演。声楽を菊池英美、Fabio Midoloの両氏に師事。現在武蔵野音楽大学大学院修士課程在学中。



野口幸太 Kota Noguchi／ピアノ

武蔵野音楽大学学院修了。オペラ伴奏法を横山修司、金森敏子の両氏に師事。2005年演出家の恵川智美氏らと共にlabo opera絨毯座を結成し、音楽スタッフを務めている。声楽家との共演ピアニストとしては、故エレナ・オブラスツオワ氏の共演者として抜擢された他、多くの声楽家との共演経験を持つ。演奏の他には各自治体の教育委員会や、各民間法人主催による音楽事業の企画・制作の実績も多数ある。

